

Fons Sapientiae

仙台白百合女子大学図書館報 フォンス サピエンティアエ



Information
de la Bibliothèque
de l'Université SENDAI SHIRAYURI

No. 6
2009.4.1

◆ Contents

- 1 日本カトリック大学連盟図書館協議会
実務研究会を終えて
- 2 推薦図書
- 3 利用者の声
- 4 図書館からの情報
- 6 新着図書の紹介
- 7 図書館雑感⑤
- 8 図書館からのお知らせ
- 8 図書館利用状況
- 8 編集後記

日本カトリック大学連盟図書館協議会 実務研究会を終えて

仙台白百合女子大学図書館長 大本 泉

仙台白百合女子大学図書館は、2008年度に日本カトリック大学連盟図書館協議会、そして2009年度に東北地区大学図書館協議会の当番校を仰せつかっている。両者とも初めての経験である。

日本カトリック大学連盟図書館協議会とは、同連盟の傘下にある。全国20校のカトリック大学の図書館で組織されている。利用者にとっては、同連盟図書館の資料を原則として自由に使うことのできる、非常に便利なシステムだ。図書館にとっても、日々の雑務に追われるだけでは新しいものは生れてこないで、姉妹のように質問や意見を出しやすい環境にある図書館間の情報交換は有意義である。

2008年6月20日(金)、2008年度日本カトリック大学連盟図書館協議会総会が本学2号館会議室1にて開催され、11月28日(金)には、同協議会実務研究会が同室で行われた。同実務研究会では、13校の主に図書館員が参集した。

午前中には、古代ギリシア哲学を専門とし、文化功労賞を受賞した、本学カトリック研究所所長岩田靖夫先生の講演『古代ギリシアにおける人権思想成立のあゆみ』があった。

人権思想成立の起源には、「ユダヤ・キリスト教の人間観」と「古代ギリシア人の思想、文化、歴史、政治のうちに出現した<人間の自由>についての自覚」とがある。「自由の自覚」とは、「人間は、自分自身の人生は自分で決める権利と責任をもつ」ということである。その考えやデモクラシーの社会体制のルーツは、キリスト教成立より実に600年も前の古代ギリ

シアにあった。本講演では、古代ギリシアに生成された人間を尊厳する人権思想の成立過程とそのありようが、地理、ソロン・クレステネス等による改革等の歴史、ギリシア悲劇等の文学、アリストテレス等の哲学といった多領域にわたる資料を駆使して論じられたのだった。

個人的に印象的だったのは、自由観についてである。人間は、運命的な条件において平等なのではなく、「<すべての人間は自由である(あるべきである)>という点で平等なのである」という先生の指摘だ。日本では、近代以降の翻訳語である「自由」が、今でも真の意味で理解されているかどうかという疑問をもった。紙面の都合上、詳細を紹介できないのが残念である。興味のある方は、本学図書館に先生の講演録があるので、参照していただきたい。

図書館司書の、とくにレファレンスの仕事では、様々な知識・教養を積み重ねなければならない。先生には、昼食をとりながら、古代ギリシア時代の図書館についても言及していただき、大いに啓発された。

午後の部では、図書館員間で、たとえば限られた予算の中で電子資料をどのように選定するか等といった具体的な話し合いが活発になされた。

同協議会・同実務研究会の目的は図書館利用者の利便性の改善・向上にある。大仰に言えば、各図書館の存在意義の確立の指標となるものにもしななければならないだろう。

皆様にご理解していただき、これからもご意見を賜わることができれば幸いである。



ERENDIPITY ~こんな本に出会いました

推薦図書

*セレンディピティ: 思わぬ掘り出し物を見つける才能。偶然貴重な発見をすること。

ペスト大流行: ヨーロッパ中世の崩壊 / 村上陽一郎著 岩波新書

健康栄養学科
山本 仁

人類の歴史を辿ると、様々な伝染病が登場し、その後の世界に多大な影響を及ぼしていることに気付く。科学思想史が専門の著者は、人類が遭遇した最も激烈・悲惨な伝染病の1つが、14世紀のヨーロッパ大陸を席卷したペストであったと指摘する。また多くの資料を通して、ペストが中世ヨーロッパ社会に与えた衝撃の大きさを考察し、社会にどのような変化をもたらしたか検証している。

1348年アヴィニオンに侵入したペストはヨーロッパ大陸に拡大し、1351年にはロシアへ波及する。医師が死に司祭が死に墓堀り人足も死んで、道端に死体が放置される惨状となった。ヨーロッパ全土の人口約1億人のうち2500万人以上が、この流行で落命したと見積もられている。人口の25%を失った影響は甚大で、ヨーロッパ大陸がペストの恐怖

から開放されたのは、14世紀も終わりに近く人々の価値観を大きく変えた。

裕福な先進国の仲間入りを果たした今日の日本では、悪性の伝染病は克服された疾病とみなされ、公衆衛生や現代医学の舞台でスポットライトを浴びることもなくなっている。しかし、“21世紀のペスト”が出現する可能性が皆無と言えるだろうか。新型インフルエンザの登場は、恐らく目前に迫っている。また、サハラ以南のアフリカでは、激しいエイズの流行で幾つかの国が崩壊の危機に瀕している。本書に描かれたペストの惨状に想いを廻らせ追体験をしようとする試みは、21世紀を生きる私達に何等かの示唆を与えてくれるのではないだろうか。

世界ことわざの泉 / 山形孝夫監修 河北新報出版センター

就職課長
赤間直樹

モンゴルには「春は泣きながらやってくる、秋は笑いながら去っていく」ということわざがある。「春は涙の季節、笑いは家畜の肥える秋にくる」というのである。

モンゴルにも日本と同じように四季はあるが、夏と秋が短く、冬と春が長い。長すぎる過酷な冬、それに追い打ちをかける悪天候の春には家畜は寒さと飢えて倒れてしまう。その倒れた家畜を遊牧民たちは自らの力で一匹ずつ立ち上がらせる。家畜にとっては、倒れるか、立ち上がるかが「越春」の勝負となる。そのため遊牧民たちも家畜を立ち上がらせるのに体力を消耗しきる。それでも、「春が去ってゆけば、夏がきて暗闇が消え、明るくなる

という、春に託する期待がある。

このように、昔から受け継がれてきた世界のことわざの由来を、河北新報に平成14年から3年間にわたった連載された「世界・ことわざの泉」約900編から抜粋された100編が「人生・知恵」「動植物」「宗教」「食」「家族愛」の5章に分かれて掲載されている。(前述のことわざは、1章「人生・知恵」に掲載)

外国を旅した経験のない私にとっては、こうしたことわざをどうして世界の民族が今に受け継いでいる知恵の結晶に触れることで、そこに生きる人々の生活に思いを馳せることができるこの一冊を時々読み返している。

自分の居場所のみつげかた / 斎藤学著 大和書房

総合福祉学科(1年)
小泉知代

みなさんは、自分の居場所は「ここだ!」と思える場所がありますか?

この本は、先日私の在籍している人間福祉専攻の先生の紹介で行った、斎藤学さんの講演会で出会った本の一つです。斎藤学さんは、福祉の世界においてとても有名な人で、今回の講演会は児童虐待についてがメインでしたが、学生の私が聞いても理解できるような大変関心のある話ばかりでした。

この本の内容に少し触れると、第1章「安全な居場所を失うとき」から始まり、「それぞれの居場所探し」の第6章まで続きます。これらはすべて斎藤さん自身がクリニックを通して出会った多くの人々との会話を基に書かれています。

私はこの本を読んで、大学に入ってから悩んで

きたある悩みが吹っ飛びました。同時に、自分がこんな小さなことでずっと悩んでいたのかと思うと、なんだか少し損した気分にもなりました。しかし、この本を読んだことで、そのことに気づくことができ良かったし、他にも悩みを抱え自分の居場所に困っている人はたくさんいるのだと気づかされる事例ばかりでした。

斎藤さんは、この本の他にも多くの本を書かれています。特に、この『自分の居場所のみつげかた』は福祉に興味がない人でも一気に読み終えることができる本だと思います。もし、自分の居場所はどこにあるのか、どういう居場所を求めているのかなど、少しでも気になったら、一度この本を読んでみてはいかがでしょうか。

人間発達学科 大迫章史

私は文献資料を中心とした研究を進めていることもあって、大学図書館は欠かせない存在です。とくに大学図書館は公共図書館とは違い、専門書が揃っていますので、研究を進める中で必要な文献や史料が出てきたとき、あるいは授業準備で何かわからないことができたとき、「まずは図書館に行けば大丈夫」という安心感があります。

図書館に足を運べば、直接自分の疑問を解決してくれる文献が見つかる場合もありますし、解決されなくても、関連する文献から何らかのヒントを得ることができます。

問が解決されたと思ったら、新たな疑問が出てくることもあります。そして、このような作業を繰り返すなかで、知識を中心とした自分の世界がますます広がっていきます。また、気分転換に、自分が調べていることとは全く関係のない書棚に目を向ければ、またそこで新たな発見があるはずです。

学生みなさんも散歩をするような気持ちで図書館へ立ち寄ってみると、これまで知らなかったような新しい発見ができるのではないのでしょうか。

国際教養学科（3年） 大石彰子

私は、図書館の持つ独特の雰囲気と静かな空間が好きです。本もよく借りますが、主に勉強するとき利用させてもらっています。テスト期間中は多くの学生が勉強しているので、その中で勉強していると集中出来ますし、やる気も出ます。勉強の合間に、私は動物の図鑑を見て息抜きしていますが、やはり本の種類が豊富なので、勉強するつもりが本に夢中になってしまうこともあります。天気の良いと明るい日の光が差し込んできて、暖かくゆったりした気持ちで勉強す

ることが出来ます。

図書館がリニューアルしてから、本や資料の検索が容易になり、勉強するスペースも増えたので一層利用する機会が増えました。図書館がこの様な学生にとって便利で利用しやすい環境にあるのは、職員の方々のおかげだと感謝しています。天気の良い日に行くのがお勧めなので、ぜひ足を運んでみて下さい。

人間発達学科（2年） 熊谷槇希

静かで緩やかな雰囲気の流れる図書館は、自分だけの空間をその中に持つことができるので、とても居心地よく感じています。空き時間ができると、自然と私の足は図書館へと向かいます。特に目的もなく、陳列された本を眺めて目にとまった本を手に取り読むことが、その日の一冊に出会えたような気がして嬉しさを感じるのです。本を読むことは、私に新たな発見や価値観を与えてくれます。そしてそれは、広い視野や豊かな教養に繋がると考えています。

私がよく利用する2階は、心理学や保育に関する文献が

多くそろい学習に役立ちます。また、大きな机での学習は、窮屈さを感じることもなくとても捗ります。大学の図書館は、専門書が多く魅力に溢れています。小説や専門的な資料、保育に関する知識的な内容の本はもちろん、実践で使える折り紙や壁面装飾についても置いてあるので、飽きることなく図書館での時間を過ごしています。忙しさの中に本を読むゆとりを一人でも多くの人に持っていただき、この魅力的な場所をもっと皆さんに活用して頂きたいです。



書検索の基本（図書館の本を探す）

図書館からの情報

図書館へやって来たとき、本の多さに目がクラクラしたことはありませんか？どこから見たらよいか、どこから探したらよいか、全然分からずに借りることもできないまま図書館を後にしてしまった…なんて方がいるかもしれません。ここでは、「この本は図書館にあるかしら？」「これが読みたい！」というときの本の探し方をお伝えいたします。ちょっとした探し方のコツが分かると本にたどりつくのがグンと楽になりますよ！所蔵図書情報はすべてデータ化されていますので学外学内のパソコンどこからでも探すことができます。



まず、図書館ホームページのタブから蔵書検索(OPAC)ボタンをクリックし、6つの項目から選んでください。

- ・フリーワード検索：検索画面にフリーワードを入力する。単語と単語の間にはスペースを入れる。
- ・条件項目検索：図書をテーマから探すときや出版年等から探すときなど特定の項目から探す場合に使う。
- ・雑誌索引検索：雑誌タイトルを五十音順に一覧表示する。
- ・新着図書：図書館に入った新しい図書を一覧で表示する。
- ・図書館カレンダー：2ヶ月分の開閉館予定を表示する。
- ・使い方について：この蔵書検索システムの使い方を示す。

下の図はフリーワード検索もしくは条件項目検索で検索した結果の一覧です。結果が多すぎるときには、再度絞り込み検索をしてください。お目当ての資料により近づくことができます。



青色表示の1行目が書名(シリーズ名を含む) 2行目が順番に、図書館内の階数、著者、分類記号、出版社、出版年、登録番号 となっています。この中で2Fとあったら、図書館の2階にあるということです。一覧表示画面の書名部分をクリックすると詳細表示画面がでます。

このデータと本がどこでつながっているか、疑問に思われるかもしれませんが、それは後にお伝えするとして、まず、詳細表示画面を見てみましょう。

状況	貸出中
登録番号	A32011
和洋区分	和書
書名,巻次,裏書名	Google 経済学 10年後にトップに立てる新経済学入門
著者名	柴山政行著
書名記号	6
分類記号1	330.4
保管場所コード	2F
配架場所コード	一般書架

左図は簡略化した詳細表示画面です。

- ・保管場所コード：探している図書が図書館の何階にあるか
- ・配架場所コード：一般書架とあるのが普通。(一般書架以外の表示：大形本、参考図書、指定図書教科書コーナー、絵本コーナー等)
- ・分類記号：日本十進分類表による分類番号

一般図書以外は別置本として2階の入口付近からまとめて展開しています。例外的に3階奥に、文庫本や新書サイズのシリーズをまとめて置いてある楽芽コーナーがあります。配架場所コードは“楽芽”となります。

●日本十進分類法について

みなさんには耳慣れないコトバではないでしょうか？日本の図書館のほとんどはこの方法によって分類されています。詳細表示画面の分類記号1にある番号ですが、この日本十進分類法に基づいて与えられております。分類番号は、0から始まる番号は“総記”、9から始まる番号は“文学”というように、主題によって番号が与えられており、直接書架へ探しに行く場合、同じ主題の本が並んでいるのでその主題の本をざっと眺めたいときには見やすくなっています。この番号は、分類番号(000)から大きい分類番号(999)で分けられています。配架場所コードの一般書架や別置本はほとんどがこの分類順に並んでいます。もし主題から検索したいときには、検索方法の中に条件項目検索という探し方がありますので、分類番号を参照して探すと良いでしょう。分類番号表は図書館のホームページにも載っています。

以上、データの見方はわかりましたか？そのデータと図書がどのようにつながっているかを次に説明いたします。図書の背には一冊一冊ラベルが貼ってあります。このラベルは下図のように3段になっております。

330.4	←分類記号
G	←書名記号
A32011	←登録番号

- ・1 段目：分類記号（分類番号）
同じ分類記号の中では、洋書・和書の順→アルファベット順→あいうえお順に並んでいます。
- ・2 段目：書名の最初の一字をとった書名記号
- ・3 段目：図書を個別に識別する記号で受入順に与えられる登録番号

図書は、一般的に分類番号順に並んでいますので、本学図書館では、図書の詳細データで、①階数を把握し、②配架場所コードを確認し、③分類番号にあたる書架を直接見て、④ラベルとデータを照らし合わせて、最終的に希望の本にたどりつけるというわけです。

雑誌索引検索

逐次刊行物 (301件)

ア カ セ ツ ト ヒ マ コ ラ ロ 英文字 数字

索引を選択してください。

ア イ ウ エ オ

1. アジア経済 BC:Ajia keizai. BC:Bi-monthly journal of the Institute of Asian Economic Affairs. OH:Monthly journal of the Institute of Asian Economic Affairs. OH:Monthly journal of the Institute of Developing Economics. OH:Monthly journal of the Institute of Developing Economics, Japan External Trade Organization 42-48,49(1-10)

継続, アジア経済研究所, 月刊, 3F, 雑誌コーナー, 和雑誌

2. アメリカ研究 The American review 1-40

継続, アメリカ学会, 年刊, 3F, 雑誌コーナー, 和雑誌

3. アメリカ文学 日本アメリカ文学会東京支部会報. VI:アメリカ文学:日本アメリカ文学会東京支部会報 57-63

継続, 富山房, 不定期刊, 3F, 雑誌コーナー, 和雑誌

図書に関して説明してまいりましたが、雑誌の場合も基本的には同じです。

雑誌を検索する場合は、“雑誌索引検索”をえらんで“逐次刊行物”をクリックしていただくと、あいうえお順の索引が出ますので、タイトル名にあたる索引をえらぶと雑誌の一覧が表示されます。こちらも“2F”などの階数が表示されるので、そちらの階の雑誌コーナーをあたって下さい。なお、雑誌コーナーは、スペースの関係上ここ1・2年の最近の雑誌を置いていますので、それ以前の雑誌をご覧になり

たいときは、1階一番奥の集密書架にある“逐次刊行物コーナー”をあたって下さい。こちらには、雑誌のバックナンバーと各大学や研究所等で発行している「紀要」という論文集を置いています。

雑誌記事や論文の探し方については、図書館スタッフに気軽にお聞き下さい。“図書館検索ツアー”も随時グループ単位で受け付けております。これからの学生生活、勉強、趣味、レジャーなどなど色々な方面でお手伝いできたらと思っております。



書館から“NEWS”を続々発信!

新着図書を紹介



「3びきのくま：イギリス民話より」 いもようこ文・絵 金の星社

森の中に大きくてカモちのババくま、中くらいで料理上手のママくま、ちいさくてあまえんぼうのこぐまの家族が住んでいました。3びきが留守にしている間に、道に迷った女の子がその家に入り込んで…。いもようこのかわいらしいほのぼのとさせる絵が、癒し感を誘う。世界の名作を描く「大人になっても忘れたくないいもようこの世界の名作絵本」シリーズの一つで、「おおきなかぶ」「フランダーズの犬」など全12作。「くりかえしのことばがいっぱいでできます。くりかえしのなかで、ちょびりずつかわっていくことばのおもしろさを、ぜひ、声を出して楽しんで下さい」—作者。他にも「おはなし名作絵本」「絵本・日本の童話名作選」「むかしむかし絵本」「日本の物語絵本」「こども世界名作童話」「宮澤賢治童話全集」等、絵本・童話のシリーズが多数入ったので、是非ご覧いただきたい。



「赤毛のアン：DVDメモリアルボックス」 ルシー・モード・モンゴメリ原作 高畑勲演出 バンダイビジュアル

カナダ、りんごの白い花が満開の美しいプリンス・エドワード島で、結婚する事も無く、小さな田舎の農場で静かに暮らしてきた老兄妹・マッシュとマリラは、農作業を手伝わせるため、孤児院から男の子をもらおうと考えるが、やってきたのは赤毛の孤児の女の子だった。夢見がちで、おしゃべり、愛情たっぷりのアンが、大まじめで巻き起こすおかしな騒動でだれもが幸せに一。想像力たくましい少女の成長をリリカルに描き出していく、高畑勲、宮崎駿らが参加した1979年放送の名作アニメ。原作の出版100周年を記念したメモリアルBOX。



「芹沢銈介の文字絵・讃」 芹沢長介、杉浦康平著 里文出版

型紙を用いて文様を染め出す日本の型染技法は、型彫り師、染物師など専門化し、分業によって完成されてきた。芹沢銈介は、分業されていた作業を一貫して自分で行うことにより、創造性豊かな作品を生みだし、1956年に重要無形文化財(人間国宝)に指定された際に「型絵染」という名称を得た。文字のデザインにも独創的なものがあり、その親しみやすく暖かみのある独自の作風を、グラフィック・デザイナーの杉浦康平氏が9つの視点から読み解いた本。

なお、共著者である芹沢長介氏は芹沢銈介の長男で、考古学者。東北福祉大学名誉教授であり、父の作品やコレクションを寄贈し美術館として完成したのが、東北福祉大学内にある芹沢銈介美術工芸館である。



「東北を歩く：小さな村の希望を旅する」 結城登美雄著 新宿書房

高齢化と過疎化が進み、「限界集落」ということが言われ始めた東北の小さな村々。1995年から15年にわたってそんな村や町を歩き、その行方を見つめてきた著者が、文章と写真で綴るルポルタージュ。

「農林漁業にかかわらず時代を席巻する市場経済主義の影響はこれからも様々な人々を苦しめ続けていくにちがいない。とりわけ格差社会の矛盾を生きなければならぬ若い世代の人々にとっては、なんともやりきれない時代と映るかもしれない。しかし本書に登場する人々が控え目に示す自然に寄り添う生き方、暮らし方が、苦しい時代を生きる若い人の胸に届き、小さな「希望」の入口のひとつになってくれたらうれしい。」—筆者



「偽善エコロジー：「環境生活」が地球を破壊する」 武田邦彦著 (幻冬社新書) 幻冬社

スーパー等でレジ袋追放運動が起こっているが、レジ袋はもともとプラスチック製品などを作る際に不要なものとして燃焼していた成分を使って作られていたので、無料で配布してきたという背景があった。レジ袋をやめると、また不要な成分を燃焼させなければならないし、エコバックの作成に必要な石油成分は貴重なものでそれを使ってエコバックをつくり不要な成分を燃やすと、かえって石油を多く使うことになる。また、毎日の生活で出るゴミはタダでもらったレジ袋を代用するのが合理的であったのに、専用のゴミ袋を消費者が新たに買って使わなければならない。環境問題は多くの人が「環境を大切にしたい」願って努力しているにもかかわらず、利益に結びつきやすく、誤った方向に陥りやすい。この本を読んで今まで思っていた「環境に良いエコ生活」っていったいなんだったのか、大いに考えさせられる。節水やりサイクルを意味が無いとする、筆者の論調も一生涯懸命やっている人からみると反発を覚えるかもしれないし、全部がそのまま信じられるかは吟味する必要があるが、環境問題について再考を促すきっかけとなる本である。



「お兄ちゃんはずっくり、すこしずつ：障害のある私の兄を紹介します」 門真妙著 中央法規出版

仙台の女の子が小学校6年生の時、夏休みの自由研究として書いたレポート「がんばれ！おにいちゃん!!」をもとにしてできた本。

「みんな、障害のある人のことについてもっと考えてみて!」という思いで、兄のことを理解してもらおうとして取り組んだもので、イラストや写真をふんだんに取り入れて、知的障害者の生活を明るく綴っている。



「四季の消しゴムスタンプ」 山田泰幸著 マール社

誰もが一度はカッターナイフで消しゴムを彫り、消しゴムスタンプ遊びをしたことがあるのではないだろうか。消しゴムで小さなパーツを作り、きれいな発色のスタンプパッドで着色し、描くように印を組み合わせて押すことで、四季の彩りや移ろいを表現する。消しゴム印の技法と魅力を、ハガキを中心に紹介した本。

他にも「年中行事カット集」「保育カット」「福祉イラストカットCD-ROM」等、イラスト・カット関連の図書が多数入ったので、実習の際等にご活用いただきたい。

追懐の断片 - 図書館、ああ図書館 -

人間発達学科教授 太田将勝

小学生のころ、私は「図書館」とはそもそも何をするところか、知らなかった。6年間で5回も転校を繰り返していたせいか、勉強も学校も嫌いだったし、本には関心が全くなかった。5年生のある日、ふと魔がさしたように「校内図書館」の札の下がった、校舎2階の本ばかりたくさんある大きな部屋に入ってみた。入口近くの棚の『二都物語』と背表紙に銀文字で刻まれた厚み2センチほどの本が眼に飛び込んできたが、不思議な題名の語感に5年生の私はかすかに心を動かされたのだった。司書の先生から、生まれて初めて「図書館」の本を借り、小脇に抱えて廊下を歩いていると、同じクラスのIQ200の天才児Iが向こうからやって来た。

「それ何の本？」すれ違いざまに題名を覗きこもうとするIの視線をかわそうと私は必死に身をよじったが、多分一瞬書名を見たのだろう、Iはにやりと笑ってその場を立ち去った。家に帰って私はその本を開いてみたが、内容は私の幼稚な理解力をはるかに超えていて面白くなく、1ページも読まないまま、翌日「校内図書館」に返してしまった。

それから20年経ったある年の秋、当時関西に住んでいた私は渋谷の縄のれんでIと再会し、久々に昔話をしたのだった。懐かしさも一入だったが、天才児がどのように成長しているかを見てみたい思いがあった。小学校のころ、理科では底知れない不思議な空間感を示し、算数ではひとの意表を衝いた奇怪な解法を即座に思いつくこの天才児が、自然科学者になっていて不思議はなかった。しかし、あろうことかIは理系を断念して、無頼な編集者になっていた。

豪胆な酒徒を気取ったIと目的も定まらない無気力な私はその夜深更まで熱燭をあおった。やくぎな発想といでたちや仕草をカッコイイだろうと言わんばかりのIは、手当たり次第に世相を酷評し、関係の権威筋を弾劾した。Iの談話に時折はさむ私のコメントを彼は手ぬるく小市民的だと評価した。「君は、小学生のころから、臍脂のセーターを着て、『二都物語』を小脇に挟んで歩くような少年だったからなあ」嘆息まじりに揶揄する彼に私は何も弁解しないで、下を向いて聞いていた。フランス革命前後の二つの国にまたがる壮大な恋愛譚の実話の詳細を知ったのは、実はその少し前のことだったからだ。

とはいえ何となくウマの合うIと私は、その後も共通の調べごとで、折々連れ立っては国会図書館や公文書館、都立日比谷図書館を訪ね、情報を交換し協力し合い、夕

刻からは有楽町や新橋の酒肆に立ち寄った。彼との思い出は、いつも図書館と酒が介在していた。

Iの訃報を知ったのは、それからかなりの時を経過したのちのことだった。連日大酒に浸っていた50歳を過ぎた独身の彼は脳出血で倒れ、死後3日後に、自宅で印刷業者に見つけられたのだった。

東京の小学生時代と地方に在住して時々上京しIと連絡を取り合っていた30歳代の間の約7年間を私は院生等として仙台で過ごしている。勉強嫌い、学校嫌いな私が、図書館というものを実際に利用し、図書館の空間や蔵書の魅力に目覚めさせられたのは、片平の旧大学附属図書館であった。法文2号館隣のルネサンス式の建造物は、ヨーロッパの寺院のような佇まいがあり、入口の煉瓦や石材で設えられた階段も昇りやすく上品だった。中に入ると、丸天井が高く、適度に簡素なシャンデリアと照明が処々に快い薄明かりを与え、閲覧室の座席には昭和初期の電気スタンドの灯が点っていた。

講読用に与えられた『七大寺日記』『七大寺巡礼私記』『益州名画録』『宋朝名画評』などを『大漢和辞典』（全13巻）で字句の出典を糺しつつ、関連の文献をくまなく収集し授業に備える作業は退屈で辛い日課となっていたが、豊かな最良の空間の中で豊富な研究資料に恵まれてこの世界に浸れる幸せは今思えば最高の日々だった。

石田英一郎、石田一良、有永弘人、金谷 治といった往時の碩学たちが、時折、閲覧席に座って、それぞれの調べものを淡々としている後姿を見せられているのはなんと心地よいものだった。



図書館からのお知らせ

●図書館オリジナルバッグのプレゼント



月ごとの図書館利用で、最多入館者及び最多貸出者に、図書館オリジナルの特製バッグを差し上げております。

図書館のステンドグラスをモチーフにした、本学図書館だけのオリジナルデザインです。

A4サイズの書類が入る使いやすい作りとなっておりますので、大いに図書館を利用して手にして下さい。

(ただし、その年度で一度もらった人は除きます。)

集計予定：4月・5月合同集計、6月単独月集計、7月単独月集計、8月・9月合同集計

●図書館では、図書館の使い方・検索の仕方・データベース等の紹介といった図書館検索ツアーを行っています。グループ単位でもかまいませんので、気軽に図書館に申し込んで下さい。

●2009年度より、土曜日が1時間延長開館となって、13時までの開館時間となります。

●2009年度図書館会議・研修会の情報(主なもの)

・2009年度日本カトリック大学連盟図書館協議会 ※1 総会
期日：6月後半の予定
場所：東京純心女子大学

・2009年度東北地区大学図書館協議会 ※2 合同研修会
期日：6月26日(金)
場所：八戸大学

・2009年度東北地区大学図書館協議会総会
期日：9月17日(木)
場所：仙台市内(本学図書館が当番館)

・2009年度日本カトリック大学連盟図書館協議会実務研究会
期日：11月後半の予定
場所：東京純心女子大学

※1 日本カトリック大学連盟に属する20大学の図書館の協議会

※2 東北地区の国・公・私立大学図書館61加盟館の協議会

図書館利用状況

2008年10月1日～2009年2月28日

学科	専攻	人数	入館人数	学科・専攻 一人当り(回)	貸出冊数(冊)	学科・専攻 一人当り(冊)	貸出人数(人)	学科・専攻 一人当り(冊)	AV閲覧回数(回)	学科・専攻 一人当り(回)	AV閲覧人数(人)	学科・専攻 一人当り(回)
人間発達学科		383	2,011	5.3	1,222	3.2	597	1.6	154	0.4	139	0.4
総合福祉学科		320	1,515	4.7	701	2.2	352	1.1	131	0.4	111	0.3
	生活福祉専攻	168	639	3.8	301	1.8	155	0.9	90	0.5	70	0.4
	人間福祉専攻	152	876	5.8	400	2.6	197	1.3	41	0.3	41	0.3
健康栄養学科		317	2,400	7.6	1,181	3.7	626	2.0	97	0.3	87	0.3
	管理栄養専攻	223	2,035	9.1	995	4.5	527	2.4	76	0.3	68	0.3
	食物学専攻	94	365	3.9	186	2.0	99	1.1	21	0.2	19	0.2
国際教養学科		301	1,306	4.3	552	1.8	290	1.0	181	0.6	151	0.5
専任教職員		108	730	6.8	222	2.1	90	0.8	0	0.0	0	0.0
一般利用者(非常勤等含)		-	110	-	124	-	57	-	9	-	9	-
計		1,429	8,072	5.6	4,002	2.8	2,012	1.4	572	0.4	497	0.3

◆編集後記◆

仙台北百合女子大学の図書館には、本学人間学部の教育理念を具現化するにふさわしい図書が沢山ある。人間として生きていく道程として、心の面、身体の面の両面からのアプローチは、最も大切な方向であるか。「哲学・宗教」、「歴史・地理」、「社会科学」、「自然科学」、「技術・工業」、「産業」、「芸術・スポーツ」、「言語」、「文学」など、あらゆるジャンルの本を読む時間を持つことの出来る日常であるように心がけたいものである。図書館報第6号では、巻頭で本館長が図書館実務研究会での岩田先生の講演の一端にふれ、図書館への思いなどを吐露している。また、図書館雑感においては、勉強嫌いな太田先生が図書館でじっくり勉強していた様子が垣間見え、先生からの「学生はこうあるべき」とのメッセージと勝手に思っている。勉強のためにふさわしい仙台北百合女子大学図書館を目指して、沢山のご意見やご要望をお寄せ下さい。(高橋)

今回の図書館からの情報は、図書館の基本ということ、図書館での本の探し方について特集を組んでみました。実際の検索画面を取り入れて、わかりやすく解説したつもりですが、いかがだったでしょうか。図書館では、図書の他にも様々なデータベースや電子ジャーナルを導入しており、学内であれば、図書館のホームページからほとんどのものが使えるようになっております。新聞記事データベースも三種類ありますので、是非使ってみていただきたいと思っております。検索や使い方わからない時は、気軽に図書館スタッフにお声かけ下さい。随時「図書館検索ツアー」も受け付けておりますので、図書館をうまく使いこなせるよう、ご参加下さい。図書館ホームページで、今までに発行された図書館報もご覧になれるので、これまでの図書館報の特集などもご参考いただけると幸いです。いろいろと意見をお寄せ下さい。(生出)

図書委員：大本泉、熊谷健二、大阪純、太田将勝、高橋伸子、佐藤幸夫
図書館職員：生出登、高橋成美、須藤清美、山口晋子